

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

一橋大学

前期日程

科目

地理総合・地理探究

総括

試験時間	120分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	法・経済160点, 商125点, 社会230点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

例年通り大問3問の構成であった。内容も概ね例年通りで、特定のテーマあるいは特定国・地域(とりわけ途上国・地域)を取り上げ、複数の資料(図・表)を用いて分析・論述させる一橋大学に典型的な問題である。内容も、経済のグローバル化により他地域(とくに発展途上地域)がどのような影響を受けるかという視点は一貫している。2026年度のテーマとして、「都市化と社会・生活環境の変化がもたらす課題」、「東南アジア大陸部5か国の地誌」、「北欧諸国の地誌」が取り上げられた。地理的思考方を基本としつつ、自然・歴史・政治・経済・社会・文化に渡る幅広い知識や見識が必要で、社会科学の専門大学らしい出題となっている。

〈特記事項・トピックス〉

一橋大学はデータを読み解き、背景的知識も加味しながら、論理的な推定をしていく思考過程を見る要素が大きく、教科書や参考書に載っている知識を答えるのではなく、地理的知識をもとに自ら考え、将来予想も含んだ考察問題が多いのが特徴である。ここ3年をみると、論述総字数は1,200字(総行数は25字×48行)とほぼ変わりはない。また、2021年までは小問1題あたり200字超の論述問題も見られたが、2022年度～2026年度は最大で150字となっている(2026年度は75字が3題、100字が2題、125字が5題、150字が1題)。資料(図・表)数は、2024年度は7点であったが、2025年度は4点、さらに2026年度は2点にまで減少し、大問3題中2題は資料が一切与えられず、知識問題としての比重が高かった。2021年度以降、全大問にリード文が提示されていたが、2026年度はリード文の分量は減り、Ⅱはリード文が与えられなかった。例年、出題されやすい最新の時事的内容を反映したテーマとして、2026年度は「新型コロナウイルス感染症の影響によるペット飼育の増加」や「ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響を受けたNATO加盟」に関する出題が見られた。

〈合格への学習対策〉

分野としては、第一次・第二次産業、都市、貿易、交通、通信などが頻出である。地域的には、アジア、アフリカ、南米などの発展途上地域が繰り返し出題されており、またその比較データとして先進国や日本も引き合いに出される。また、グローバル経済、垂直的・水平的分業体制、所得の地域格差を拡大かつ固定化する要因についてなど、経済的事象について系統立てて論述する訓練が必要である。文章力やモデル解析の論理力を必要とする難度の高い問題が多いが、視点、出題地域には一定の傾向があり、青本などによる過去問の復習が大いに役立つ。また、近現代史・政経の基礎知識が随所で必要とされることも付記しておきたい。資料の出典年次が示す通り、入試では試験直前期までの最新の時事が問われることもある。日頃から探究心を持ち、多様なメディアから積極的に情報を収集しておきたい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
I	論述	都市化と社会・生活環境の変化がもたらす課題	アメリカ合衆国の動物との共存環境整備がもたらした低所得者への影響、日本の都市化がもたらしたペット家族化の背景、ガーナのマラリア感染の都市内および都市と農村における違い、湿地の埋め立てによる自然災害と地域住民への悪影響について問われた。ジェントリフィケーションやセグリゲーションなど頻出の都市の内部構造に関する問題が中心であった。	標準
Ⅱ	論述	東南アジア大陸部5か国の地誌	東南アジア大陸部5か国について、ミャンマーのロヒンギャ問題、南シナ海の領有権問題に対するASEAN諸国の温度差、ベトナムの稲作がもたらす経済への影響、タイとその他のASEAN諸国の日系企業進出状況の違いについて問われた。知識問題が中心で比較的取り組みやすい問題が中心であった。	標準
Ⅲ	論述	北欧諸国の地誌	北欧諸国におけるEU非加盟の国・地域とその共通する理由、シェンゲン協定の目的と北欧諸国におけるその意義、全北欧諸国がNATO加盟するに至った経緯について問われた。資料が無いこともあって、国だけでなく自治領についてまで、またEUやNATOへの加盟・非加盟やシェンゲン協定参加の背景といった、細かい背景知識が問われ、解答に悩む問題も多かった。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。